

事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月31日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	交通安全対策推進事業	コード	10201
-------	------------	-----	-------

2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者	林 秀紀
--------	----	-------	----	-------	-----	------

3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち		
		政 策	安全対策の推進	施 策	生活安全対策の推進
		予算科目	安全対策推進費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	交通安全運動の推進及び啓発活動、交通安全教育、放置自転車撤去・保管・指導		
目的	対象者	市民、滞在者等	
	意 図	市民の交通安全意識を高め、交通事故防止を図る。	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全運動を推進し、広報、パトロールを随時実施した。 毎月1回の無事故無違反デーにおいて交通事故防止を図った。 街頭指導、広報活動、交通指導所の開設、重点パトロール（道路標示の点検等） 通園・通学路等を中心に、朝夕の街頭指導やパトロールを実施した。 交通指導：293件 交通安全教室での安全教育、安全指導を実施した。 保育園・幼稚園（保護者含）40回、小学校9回、高齢者4回、親子1回 交通安全親の会のストップライン足型マーク作戦活動を支援した。 自転車等放置禁止区域内のパトロール、自転車撤去等を実施した。（シルバー人材センターへ委託） 巡回業務：52回、撤去業務：4回、撤去台数5台、返還台数：1台、廃棄台数：3台 		
前年度の課題への対応	特になし		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	交通安全教室開催件数			単位	件
実績値	83	58	54		
*指標の説明	年間開催数の合計				
② 成果指標（指標名）	交通安全教室参加者数			単位	人
目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	
実績値	4,182	3,501	4,130		
達成度	83.6%	70.0%	82.6%		
*指標の説明	年間参加者数の合計				
*目標値の設定方法の説明	過去3年間の平均値				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	5,170,122	3,672,706	4,055,195	4,937,000
経常経費	5,170,122	3,672,706	4,055,195	4,937,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	3,840,000	3,840,000	3,840,000	3,840,000
正規職員の人数(人)	0.48	0.48	0.48	0.48
③ 合計コスト(①+②)	9,010,122	7,512,706	7,895,195	8,777,000
前年度比		83.4%	105.1%	111.2%
財源	9,008,122	7,508,706	7,894,195	8,757,000
一般財源				
内訳	2,000	4,000	1,000	20,000
特定財源				
* 特定財源の説明 自転車返還料				
④ 活動一単位あたりコスト	108,556	129,529	146,207	
前年度比		119.3%	112.9%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
岡谷交通安全協会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	750,000	750,000	750,000	750,000
岡谷市交通安全親の会補助金	件数	1	1	1	1
	金額	100,000	100,000	100,000	100,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	850,000	850,000	850,000	850,000
	割合	16.44%	23.14%	20.96%	17.22%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	118.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	0
成果指標の目標値 達成度	82.6%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 岡谷交通安全協会において高齢化及び後継者不足が深刻化してきている。	
	(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 岡谷警察署等の関係機関と協議し認識を深めて対応を図っていく。	
改善方法		
改善開始時期	令和2年4月	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価によ2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---